



農林水産省の室本農村振興局次長らを講師に

農業農村整備事業研修会を開催

島根県農業農村整備推進協議会



講演する室本次長

島根県土地改良事業推進議員連盟（会長・浅野俊雄島根県議会議員）と島根県農業農村整備推進協議会（会長・長岡秀人出雲市長）共催の「平成28年度農業農村整備事業研修会・意見交換会」が5月26日、松江市の土地改良会館で開催され、両会員のほか、県、市町村、土地改良区などから約150名が参加しました。また、研修会の講師として、農林水産省の室本隆司農村振興局次長、同局設計課計画調整室の廣川正英課長補佐、同局農地資源課の村瀬勝洋課長補佐が来県されました。

冒頭の佐々木雄三同議員連盟副会長（島根県議会議員）に続き挨拶に立った長岡会長は、「県内市町村の多くで、基盤整備をはじめとする土地改良事業の実施要望が出されていることなどから、本協議会では、毎年、農村振興局との意見交換を開催し、地域の生の声を届けているが、それぞれの地域が必要とする農業農村整備事業の着実な推進に必要な安定的な財源の更なる確保をお願いします」と述べられました。

第1部の研修会では室本次長が、農業農村の今後の展開方向について、現在の農業農村を取り巻く状況やTPP対策における農業農村整備事業の方向性などについて、「攻めの農林水産業への転換を図るため、米の生産コストの低減や高収益作物を中心とした営農体系への転換など体質強化対策に資する事業を重点的に実施する。また、振興局と他部局事業メニューをセットで、振興局で採択できるようなワンストップ事業を検討している」と解説されました。また、第2部の意見交換会では、参加者から中山間総合整備、農業基盤整備促進、多面的支払交付金などのNN事業全般の予算確保、農業水利施設の長寿命化対策の制度拡充や危険ため池廃止助成の延長など7項目について意見・提案が出され、それぞれについて農水省出席者と活発な意見交換が行われました。



多数の参加があった研修会

■農業農村整備事業研修会を開催	1
■平成28年度県土連役員会・監事会を開催	2
■農業農村整備の集い	3
■水土里ネット島根「平成29年度新規採用職員募集」のお知らせ	4
■今月の主な予定	4

平成28年度 県土連 役員会・監事会を開催

本会は5月26日、本年度第1回の役員会及び監事会・監査を開催しました。

役員会では冒頭、長岡秀人会長（出雲市長）が、「今年度の農業農村整備事業予算は、前年度より1,222億円増額となったものの、平成21年度予算5,772億円の66%までしか回復しておらず、必要額が十分に確保されているとはいえない非常に厳しい状況にあり、本会として、国や関係機関に対し、県内の農業・農村の振興と予算確保について要望、提案活動を行って行きたい」と述べられた。

役員会は、議事録署名人に山碓英樹副会長（飯南町長）と長崎泰樹専務理事を選出した後、長岡会長が議事となり提出議案の審議が行われました。

審議は、提出された議案ごとに事務局から提出事由と内容説明の後、質疑応答、採決が行われ、いずれの議案も原案どおり可決されました。

【提出議案】

第1号議案 会務報告

第2号議案 諸規程の改正について

(1) 業務規程の一部改正

(2) 農道台帳作成業務受託料の改正

(3) 土地改良区体制強化事業新設に伴う規程等の制定・改正

(4) 職員給与支給内規の一部改正

役員会終了後に開催された監事会では、今年度の監査計画が審議され、上半期は業務監査、下半期は決算監査を実施することが決定しました。

また、翌27日には、平成27年度会計の決算監査が行われ、決算書や関係諸帳簿類について精査が行われ結果、いずれも適正に処理されていると認められました。

《平成27年度 一般会計収支決算》

科 目	予算額 (円)	決算額 (円)	増△減額 (円)
1 当 期 収 入	629,723,000	648,520,972	18,797,972
2 前期繰越収支差額	14,385,000	14,385,065	65
3 収 入 合 計	644,108,000	662,906,037	18,798,037
4 当 期 支 出	644,108,000	644,968,237	860,237
5 当期収支差額	△ 14,385,000	3,552,735	17,937,735
6 次期繰越収支差額	0	17,937,800	17,937,800

注) 予算額は、2月2日の県土連第58回通常総会において承認された、補正後予算額

全国水土里ネット・都道府県水土里ネット主催

農業農村整備の集い

＝農を守り、地方を創る予算の確保に向けて＝

全国土地改良事業団体連合会（会長・二階俊博和歌山県土連会長）と都道府県土地改良事業団体連合会共催による「農業農村整備の集い」が5月30日、シェーンバッハ・サボー（東京・平河町）で開催され、農林水産省から加藤寛治農林水産大臣政務官をはじめ農村振興局幹部職員、また、自由民主党の稲田朋美政調会長、公明党の石田祝稔政調会長、衆参両院の国会議員、全国から参加した農業農村整備関係者（島根県22名）を合わせて約1000名が参集しました。



開会挨拶：二階会長

はじめに二階会長から「新たな土地改良長期計画（中間取りまとめ）の意見募集が行われ、基本理念として「社会資本の継承・新たな価値の創出と農村協働力の進化」を掲げるとともに、産業政策としての「強くて豊かな農業」、地域政策としての「美しく活力ある農村」、これらを支える「強くてしなやかな農業・農村」を目指し、各種施策の計画的推進に向けた検討が行われているところであるが、これらの施策の実現に向けて全力で取り組んでいく必要がある。また、必要な予算確保のためにも全力で望んでいく」と挨拶がありました。

引続き、加藤大臣政務官から「土地改良予算は平成22年の大幅削減以来現場のニーズに応えきれていない状況が続いている。予算確保による事業の計画的な推進は大きな課題となっており、今後とも最大限の予算確保に努めていきたい」との祝辞が述べられました。また、自民党の稲田政調会長からは「土地改良事業が非常に重要であることは身をもって体験をしている。土地改良予算をしっかりと当初予算で戻すべく、二階会長と頑張っているところである」と述べられました。さらに公明党の石田政調会長からは「今後農業所得を増やすために生産費を下げる必要がある。が、そのためには土地改良事業できちんと条件整備をして生産性をあげていく必要がある」と述べられました。



事例発表：石倉理事長

次に、全国水土里ネット会長会議の進藤金日子顧問から情勢報告、その後事例発表と続き、事例発表では、安来市土地改良区・石倉刻夷理事長から土地改良区の概要や大区画ほ場整備地区の集積・営農状況の説明がありました。また、安来市の中山間地域では中山間地域総合整備事業の採択要件を満たしているにもかかわらず、土地改良予算の不足から採択を待っている状況であることを説明され、土地改良予算確保の必要性を要請しました。

閉会后、全土連と都道府県土連代表者により、農林水産省、財務省、復興庁に対して要請活動が行われ、島根県も県選出国会議員に対して農業農村整備の推進を訴えました。

■水土里ネット島根「平成29年度新規採用職員募集」のお知らせ

【新規採用職員】

	新規卒業程度	経験者
募集人員	若干名	若干名
応募資格	① 平成4年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた者(H29. 3. 31現在年齢：20～24歳) ② 平成29年3月31日までに、高等専門学校または4年制大学(いずれも土木工学系または農業土木系専攻)を卒業した者または卒業見込みの者	① 平成29年3月31日現在の年齢が25歳から40歳までの社会人 ② 高等専門学校または4年制大学を卒業し、農業農村整備関係(または類似した)業務経験者
応募期間	平成28年9月1日～平成28年9月30日	
採用試験	① 一次試験(筆記試験)・・・平成28年10月16日(日) ② 二次試験(面接)・・・平成28年11月5日(土)	
採用日	平成29年4月1日(予定)	

【中途採用職員(経験者)】

	経験者
募集人員	若干名
応募資格	① 採用日現在の年齢が概ね25歳から40歳までの社会人 ② 高等学校、高等専門学校または4年制大学を卒業し、農業農村整備関係(または類似した)業務経験者
応募期間	随時募集
採用試験	① 一次試験(筆記試験)・・・応募状況を勘案し実施 ② 二次試験(面接)・・・一次試験実施後一か月以内に実施
採用日	採用決定後速やかに採用(予定)

詳しくは、本会総務企画担当(福島)、本会ホームページ、ハローワークで

■今月の主な予定

開催日	行事等	開催地
6月1日(水)	平成28年度中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会	広島市
6月5日(日)	第19回しまねの農村景観フォトコンテスト表彰式	益田市
6月6・7日(月・火)	平成28年度農地・農業用施設災害復旧事業研修会	県土連
6月7・8日(火・水)	島根県農業農村整備推進協議会要望活動(農水省外)	東京都



水土里ネット島根 (島根県土地改良事業団体連合会)

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141
ホームページ<http://www.shimanedoren.or.jp/> メールsmndoren@shimanedoren.or.jp